



「保険でより良い歯科医療を」 愛知連絡会ニュース

「保険でより良い歯科医療を」
愛知連絡会
〒466-8655
名古屋市昭和区妙見町19-2
愛知保険医会館内
TEL ; (052) 832-1349
FAX ; (052) 834-3584

「保険でより良い歯科医療を」請願署名 5万筆を目標に、1月からスタート

愛知連絡会では、「保険でより良い歯科医療」の実現を求める請願署名に取り組みます。取り組み期間は1月～6月まで、5万筆を目標とします。

今回は、次回改定に反映させるため通常国会への提出を目指し、例年よりも早く時期も短縮して取り組みます。前回の2021年度の取り組みでは、愛知連絡会として3万5946筆、目標に対して59.91%の達成率でした。全国では26万4174筆を集約しました。今回、前回からみて目標を1万筆下げて必達目標として取り組みます。目標達成するためには、前回の1.5倍の取り組みが必要です。

2022年4月の診療報酬改定では、実質マイナス改定の中でも、初・再診料がわずかですが引き上げられました。しかし、患者さんが医療機関の窓口で支払う自己負担金は軽減されず、逆に高齢者の負担増の計画が強引に進められています。また、全体の医療費の7%弱しか歯科医療に使われていない状況は変わっていません。

「いつでも、どこでも、だれもが、安心して歯科医療を受けられる」ように、国民の声を署名に託して国会に届けましょう。ぜひ「保険でより良い歯科医療」の実現を求める請願署名にご協力をお願いいたします。

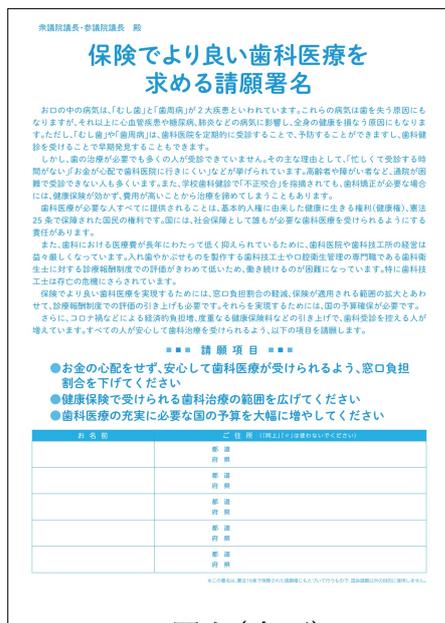
前回の取り組みよりももう一回り、もう一步進めた活動を行って
必ず目標を達成しましょう！

署名用紙・リーフレット・ポケットティッシュなどの注文を承ります(全て無料です！)

注文は052-832-1349まで お気軽に



署名(表面)



署名(裏面)



リーフレットも
活用を！

街頭宣伝で市民と対話

～署名は44筆、シール投票は93人が参加～

◆日時 2022年11月3日(木・祝) 10:30~11:30/中区栄・三越前

◆参加 24人 愛知県保険医協会5人、みなと歯科診療所4人、北医療生協7人、はみんぐ歯科1人
年金者組合1人、愛商連6人

◆行動 署名44筆、ポケットティッシュ配布約200個

◆企画 健康相談2件、シール投票参加93人

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会(以下、連絡会)は、11月3日(木・祝)に、名古屋栄の三越前でいい歯デー街頭宣伝を行いました。

当日は、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士のほか、愛知連絡会参加団体の構成員ら24人が参加しました。1月から開始する「保険でより良い歯科医療を求める」請願署名に先立ち、愛知連絡会独自の署名用紙を作成、協力を訴えながらシール投票や健康相談、ポケットティッシュの配布などを行いました。江原雅博連絡会会長、鬼頭克幸保険医協会歯科部員、久野よし乃北生協歯科所長の歯科医師3人と、歯科衛生士、歯科技工士ら参

加者が交代でマイクを握り、新型コロナウイルス感染症の拡大に起因する口腔状況の悪化や、マスク内の「お口ぼかん」について注意を促し、感染症に対する口腔ケアの有効性や、窓口負担の引き下げや、保険適用範囲の拡大を訴え、歯科医療・医療予算の確保を求めました。

シール投票では93人の市民が投票し、「お口のケアが新型コロナやインフルエンザなどの感染症を防ぐために効果があることを知っていますか」に対して「知っている」と回答したのは41人(回答84人の48.8%)。口腔ケアの有効性について、まだ市民に届いていないことが伺えます。

また、「歯科矯正は保険が効かず高額です。子どもの歯科矯正を保険に入れるべきだと思いますか」に対して「入れるべき」が81人(87.1%)、「入れるべきでない」は2人(2.1%)と、子どもの歯科矯正の保険導入に肯定的な意見がほとんどを占めました。

市民との対話では、矯正治療中の子どもを持つ親から「金額が高いので保険治療にぜひしてほしい」、75歳以上の方から「10月から窓口の金額が倍になって困っている」などの声が聞かれました。

連絡会では、健康講座などを通じて歯科医療の重要性を市民に届ける活動を継続していきます。



10/8イレバデー 歯のなんでも 電話相談☎

10月8日は語呂合わせで「イレバデー」にちなみ、愛知連絡会では、10月8日(土)午後、「歯のなんでも



も電話相談」を開催しました。江原会長、大藪副会長、北生協歯科の金澤歯科医師の三人が市民からの相談を



受けました。相談では「歯周病でぐらつく歯、抜歯するしかないのか」「ブリッジと義歯ど



ちらが良いのか」など、治療の選択について迷う相談内容が多くひとつひとつ丁寧に答えました。